

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：小学館アカデミーひよし保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：北村 早苗	定員（利用人数）：60名
所在地：223-0051 横浜市港北区箕輪町2丁目2-12 アリアソワンプレミアム日吉101	
TEL：045-560-1710	ホームページ： https://hoiku.shoppro.co.jp/hoiku/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2012年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社小学館アカデミー	
職員数	常勤職員：17名 非常勤職員 5名
専門職員	（専門職の名称） 名 看護師 1名
	施設長 1名 栄養士 4名
	保育士 15名 事務員 1名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）
保育室 4室 給食室 事務所 乳児用トイレ 1 幼児用トイレ 1 園庭 電子錠（玄関） インターホン（玄関） 床暖房 24時間換気 子ども用シャワー設備	

③理念・基本方針

「あったかい心」をもつ子どもに育てる
あったかい心とは・・・愛情・信頼・承認・思いやりの気持ちを持ち、その気持ちのこもった行動が素直に表現できることだと、小学館アカデミーは考えます。
【8つの基本方針】

- ・「思いやり」の気持ちを大切にします
- ・「生きる力」を大切にします
- ・「主体性」を大切にします
- ・「好奇心」が伸びる環境を大切にします
- ・「経験」「体験」を大切にします
- ・一人ひとりの「得意」を大切にします
- ・「ことば」の美しさ、楽しさを大切にします
- ・「地域との関わり」を大切にします

④施設・事業所の特徴的な取組

小学館アカデミーひよし保育園は、東急東横線・東急相鉄新横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン日吉駅から徒歩8分のところにあります。
株式会社小学館アカデミーが運営する認可保育所として2012年4月に開設をいたしました。園の東側には高層マンションが立ち並び、西側には閑静な住宅街の中に田んぼや畑や丘陵地の木々が生い茂るや竹やぶが広がり、自然の風景が残っており、子どもたちは四季の移り変わりを実際に肌で感じることでできる環境があります。
人工芝の園庭では、プール活動を行ったり、ボール遊びなどの遊びを楽しんでいます。

す。

保育は、運営法人の保育理念「あったかい心をもつ子どもに育てる」に基づいた8つ基本方針と保育目標をベースに「楽習保育®」を展開しています。また、「あそび・せいかつからまなびへ」「子どもを伸ばす3つのH」の考え方は、子どもたちが主体的に活動する時に理念の実現に向けて取り組んでいます。

園周辺には、様々な特徴ある公園が多くあり、子どもの発達や体力に合わせて、日常のお散歩や活動の場として活用し、存分に運動できる環境が整っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2024年 4月 30日（契約日） ～ 2024年 12月 27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	5回（令和元年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

自己評価を活用した保育の質向上と保護者への透明性の確保に力を入れている

園では、年度末に自己評価を実施している。横浜市の評価シートを基に、系列3園で評価項目を小学館アカデミーの基準に合わせて整理し、共有する仕組みを整えている。評価は、まず個人ごとに行い、その結果を園全体で合議しながらまとめており、包括的な分析と改善案を策定しやすくしている。評価結果は保護者にも共有し、玄関に配置していつでも閲覧できるようにしている。また、時系列で比較検討を行い、課題を具体的な計画や行事に反映させるよう取り組んでおり、園は保育の質を高め、子どもたちにより良い環境を提供しながら、保護者との信頼関係を深めている。

子どもの気持ちに寄り添いながら、安心して自己表現ができる環境を提供している

職員間で積極的に意見を交換し、互いの考えを尊重しながら、子どもにとって何が必要かを共に考え、指導計画を立案している。計画には子ども一人ひとりの状況や成長段階が反映されており、丁寧な保育が実施されていることがうかがえる。子どもの気持ちを丁寧にくみ取り、安定した心持ちで過ごせるように寄り添う保育に取り組んでおり、法人の保育理念である「あったかい心をもつ子どもに育てる」という方針に通じるものである。

子どもの成長や興味関心に寄り添った保育に取り組んでいる

全職員が「全園児を見守る」という共通の意識を持って保育にあたっており、個々の子どもには選択肢を提示し、何をやりたいかを自分で考え、選び取る経験を大切にしている。このような取り組みにより、子どもたちの主体性や自己表現の力を引き出すことを目指している。特に5歳児は、自らのアイデアや思いを形にする活動を取り入れており、クリスマス会では、子どもたちが自分たちでストーリーを考え、保育者と一緒に準備を進めている。達成感や協働する喜びを味わうとともに、就学前の準備として必要な力を育んでいる。

今後期待される点

法人との連携強化と計画策定の実効性向上が期待される

法人のフォーマットが共有されておらず、独自のフォーマットで事業計画を策定している状況にある。また、法人共通の行動計画が十分に認識されておらず、計画内容の整合性や方向性の統一に課題が見られる。単年度事業計画においても、中・長期計画を踏まえた形式的な内容に留まっており、運営方針やクラス運営、就業規則、危機管理対策などの記載が主となっているが、具体的な園の課題や改善策が反映されてい

い点が課題である。今後は、法人との連携を強化し、フォーマットの共有を進めることで計画策定の精度を向上させることが期待される。また、計画の内容をより実効性のあるものとし、園独自の課題や保護者・職員からの意見を反映させた改善策を計画に盛り込むことで、保育の質のさらなる向上が望まれる。

子どもたちの運動能力を向上させ、体を動かす楽しさを体験できる保育環境の充実を目指している

園庭の広さに制約があるため、乳児クラスではそこで行える遊びが限られることを課題としている。このため、園外活動として近隣の公園を積極的に活用し、自然や広い空間の中でのびのびと体を動かせる機会を増やしている。また、雨天時や悪天候時には、室内でも運動能力を高められるような活動を取り入れることを検討している。年齢ごとに楽しめる運動プログラムで室内での活動を充実させるなど、研修やアイデアの共有を行う予定である。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度、第三者評価を受審し、保護者さまからのアンケートや職員の自己評価等から、保育ニーズや園運営・保育内容等について客観的に再認識することが出来ました。今後は、先を見据えた事業計画を策定し、園の課題や改善点を見直しながら、精度の高い計画の策定を行っていききたいと思います。

また、引き続き職員が一丸となって子どもたちが心豊かに過ごせる環境を整え、さらなる保育の質の向上に努めていききたいと思います。

保護者の皆さまには、今回の受審にあたりアンケート調査等ご協力をいただき、ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり